

# 二〇二三年度 入学試験問題

## 国 語

### 第三回

【注 意】

- ・ 試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・ 問題は一ページから七ページまでです。
- ・ 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- ・ 字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・ 記号・句読点がある場合は字数に含みます。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

## 問一

——(1)「環境保全について考えるとき、僕らは『平等』という倫理上の概念に直面する。」とありますが、ここでいう「平等」とはどのようなことですか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

## 問二

——(2)「NIMBYは、僕らが考えるべき倫理上の問題だ。」とありますが、どういうことですか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ごみ問題を考えるとき人間がごみを出すことが環境問題の根源であり、そのことを無視することはできないということ。

イ 葬儀場や原子力発電所を自分の家の近くには建てたくないからといって人口の少ない地方に押し付けてはならないということ。

ウ 暮らしに必要なものであるのに自分の住まいの近くには置きたくないと考えるのは自分の感情ばかり優先しているということ。

エ 環境保全について考える際には人々の権利や利益を考えるべきであり、地域の格差はそれに基づいて考える必要があるということ。

## 問三

——(3)「僕ら人間個人には人権があり、それはとても大事なものである。」とありますが、筆者は環境保全に対しどのような考え方を持っていますか。「人権」という語を用いてその内容を解答らんに二行以内で説明しなさい。

## 問四

(4) に当てはまる一語を文中から抜き出して答えなさい。

## 問五

——(5)「悲観的楽観主義者」とありますが、これは環境問題に関してはどのような考え方をする人ですか。解答らんに三行以内で説明しなさい。

問六

A      D

に当てはまる語を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

- ア だから      イ しかし  
ウ さて      エ つまり

問七

――(ア)～(オ)のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 地球環境について考えるときには「平等」という概念が必要であり、すべての人が等しい幸福を得られるように社会制度や政治のしくみを変えていかななくてはならない。
- イ 自然を守るためにはあまりに悲観的になりすぎてはいけないのであり、人間がそれぞれの人権を尊重しながら幸せになるために今できることを続ける必要がある。
- ウ 環境保全のためには一部の人の負担ではなく、すべての人が責任を果たすことで利益を生むビジネス化が生まれ、実質的にその目的を果たすことができる。
- エ 人間が自然と共存していくためには人間が本来持つ一見欠点にも思える性質を冷静に理解し、それを生かして地球環境を保全するための方法を考えていく必要がある。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

---

130

125

120

115

110

105

100

## 問一

——(1)「今度は反射的に首を引つ込めて、壁に身を隠した。」とありますが、この時の涼方の心情を解答らんに合うように二行以内で説明しなさい。文末は「心情」や名詞で止めなくてよい。

## 問二

——(2)「涼方の眉間がしぼられた。」とありますが、涼方がそのようにふるまったのはなぜですか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

### 問三

——(3)「腑に落ちない」とありますが、内臓に関することばを使った次の一～五の成句の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 一 肝を冷やす
- 二 肝が据わる
- 三 はらわたが煮えくり返る
- 四 はらわたがちぎれる
- 五 心臓が強い

〔意味〕

- ア 腹が立って、がまんできない。  
 イ あつかましく、ずうずうしい。  
 ウ たえられないほど、悲しくてつらい。  
 エ 落ち着いてどっしりしている。  
 オ 危ない目にあつてひやつとする。

### 問四

——(4)「笑い声は涼方の耳をつつかえながら通っていった。」とありますが、この時の涼方の心情を解答らんに合うように三行以内で説明しなさい。文末は「心情」や名詞で止めなくてよい。

### 問五

——(5)「いい子いい子。」とありますが、この時の涼方の心情としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。  
 ア 音心よりも自分の方が早紀を理解していると思ひ悔しがっている。  
 イ 音心が早紀を見下し子ども扱ひしたのを思い出して憤っている。  
 ウ 音心の早紀に対する親密な態度を思い出して嫉妬にかられている。  
 エ 音心が早紀の偽善的なところを見抜いてからかったことに腹を立てている。

### 問六

次の文は、本文のどこに入りますか。次のア～カの中から一つ選び、記号で答えなさい。

壁を挟んで、涼方もまったく音心の言う通りだとひとりうなずいた。

ア《Ⅰ》イ《Ⅱ》ウ《Ⅲ》エ《Ⅳ》オ《Ⅴ》カ《Ⅵ》

### 問七

答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア ざわざわ イ ブクブク ウ がら がら エ ドスドス  
 オ ドキドキ カ ずんずん キ もくもく ク ぶんぶん

### 問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 音心は、素晴らしい歌声を持っている早紀が歌わないのは非常にもったいないと思っており、指揮者をあきらめてもらうために、クラスメイトのことを悪く言っている。

イ 早紀は、音心が自分の才能を過信するあまりクラスメイトに批判的になりがちなることを心配しており、彼がクラスの中で孤立してしまわないよう心を砕いている。

ウ 涼方は、晴美が急に女の子らしい仕事で朝練習に出席するよう頼んできたことに驚き、今まで見過ごしていた晴美の可愛らしさに気がついて恋心を感じ始めている。

エ 晴美は、他の組が真剣に練習していることに焦りを感じており、涼方が部活ではなく合唱の朝練習に来てくれれば、他のクラスメイトのいい刺激になると考えている。









